

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 生涯学習の充実
 基本事業 生涯学習機会の充実

事業名 **図書館知の拠点づくり充実事業 (光交付金)**

[1040]

部名	教育部	事業開始年度	平成23年度	実施計画事業認定	非対象
課名	情報図書館	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 情報図書館本館
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が情報図書館を知の拠点として快適に利用できる
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 知の拠点とするために資料や設備を整える

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	施設数	施設			1	
対象指標2						
活動指標1	事業支出額	千円			14,803	
活動指標2						
成果指標1	資料購入冊数	冊			2,590	
成果指標2	施設改修箇所数	箇所			9	
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	14,803	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	803	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	15,606	0

費用内訳	
23年度	委託料 9,264千円、工事請負費 759千円、備品購入費 4,780千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	知の拠点づくりのため、国の交付金制度が創設された	事業を取り巻く環境変化	23年度のみ交付金であるため廃止
--------	--------------------------	-------------	------------------

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・根拠は？

図書館の資料や施設の充実が、市民の文化知識の充実に貢献する。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・根拠は？

資料の充実により生涯学習環境の充実につながる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・根拠は？

資料購入及び施設改修は当初の計画通りに進んだ。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・根拠は？

資料及び施設の充実を図れば、市民が利用し生涯学習機会の充実が見込まれる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・根拠は？

単年度事業で終了のため